

# 会 議 記 録

会 議 名	第五次和光市総合振興計画策定委員会 第2回会議
開 催 日 時	令和元年7月9日(火) 午前11時00分～午前11時50分
開 催 場 所	庁議室
出 席 者	別紙のとおり
次 第	1 開会 2 議事 (1) 人口推計について 3 報告 (1) 市民意識調査結果(速報)について (2) 和光100年まちづくり会議について (3) 第四次和光市総合振興計画における主な成果について 4 その他 5 閉会

## 1 開会

### 委員長

それでは、第五次和光市総合振興計画策定委員会第2回会議を開会します。

## 2 議事

### (1) 人口推計について

#### 事務局説明

資料1 和光市人口推計(速報)が現在の推計結果です。2019年1月1日現在が82,841名になりますが、第五次総合振興計画終了期間の2031年1月1日には89,409名まで増加するという推計になります。

資料2の小学校区別の人口推計ですが、生産年齢人口も増加することに伴い、老年人口は増加しますが、人口比率はほぼ横ばいになる見通しです、

資料3の人口推計の考え方についてですが、基準人口は4月1日を基準にすると届け出のタイミングに左右されるため、2019年1月1日現在の住民基本台帳に設定しております。推計地区単位は町丁目番地別ベースで小学校区に分けて推計しております。

推計に使用する実績人口データは、2014(平成26)年から2019年(平成31・令和元)年1月1日の住民基本台帳を使用しています。推計を行うために、小学校区別に、男女比・年齢別人口を整理しています。小学校区別の人口推移について、大きな動きがある箇所がイレギュラーでトレンドが続かないと予想される場合は補正する必要があります、番地単位で確認しています。

推計手法は国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が採用している一般的な推計

手法であるコーホート要因法で実施しています。まず、和光市の基準年人口である2019年1月1日に変化率を乗じます。生残率に純移動率を乗じた変化率で和光市の基準人口に変化率を加えた上で年を1歳経た形にし、1歳以上の男女別・各年齢別の人口推計を算出します。こちらに女性の5歳階級別推計人口と出生率等を反映し、0歳の人口推計を行います。さらに1歳以上の人口を加え、各年齢別の推計人口を算出する作業を繰り返し行うものです。

仮定値の設定ですが、出生に関する仮定の母親の5歳階級別出生率と0から4歳性比、死亡に関する仮定の生残率は社人研が推計した一般的な手法を採っています。

移動に関する仮定ですが、純移動率については2014(平成26)年から2019(平成31・令和元)年までの直近5年間における小学校区別・5歳階級別の社会動態を基本の純移動率として平均のような値として算出しています。1歳別で純移動率を算出すると極端な動きが反映されるため、5歳階級別としています。今後10年間は過去5年間と純移動率が変わらず、その後一定程度縮小すると仮定し、将来の純移動率を算出しています。今後も同じ純移動率が続くと設定した場合、流入が続き過ぎる内容になるため、極端な人口推計になることが懸念されます。ある一定程度のところで転入転出のトレンドが縮小すると仮定せざるを得ないと考えています。今回「第五次和光市総合振興計画策定方針」でも、未来に向けた投資を行い、社会基盤整備等についても今後10年間続いていくと記載していますので、純移動率は変わらず、その後一定程度縮小すると仮定しています。

純移動率を補正した箇所ですが、まず、第五小学校区での南2丁目3番地で99人の増加は、平成28年に税務大学校関東信越研究所の転入で繰り返し起こる要因ではないため、移動率算出の前提から除外しています。次に、広沢小学校区は自衛隊官舎の異動が人口増減の主な要因となっており、一般的な増減とは異なるため、コーホート要因法は適用せず、年齢構成・男女構成など横ばいで推移する過程として推計しています。最後に下新倉小学校区での平成27から28年にかけて下新倉4丁目21番地で482人の増加は、大型マンション新築による影響であり、同等の増加が継続するとは考えづらいことから、特殊要因と整理し、準移動率算出の前提から除外しています。

#### 【意見・質問】

・子ども・子育て支援事業計画は人口推計と整合しながら策定を行いますが、即応性をもって情報共有していただけますか。

→ はい、計画策定等を行う関係各課にも情報共有をしていきます。

・資料1 和光市人口推計(速報)の小学校区別で、例えば第三小学校区の人口が現在8,233人で、2031年が9,953人で約1,700人増加する推計に違和感があります。他の地区でも実情と乖離があり、精査が必要な気がします。

・社会インフラについても加味する推計になっていますか。

→ 例えば下新倉小学校の補正を行った際、大型マンションが立て続けに建設されることは考えにくいため除外しています。実態に沿わないような極端な結果になる純移動率の算出は行っていません。

・過去の計画等を見ても、実際より数千人高い数値になっている印象があります。

計画策定の基礎のデータにあたるため、事業の実施にあたりには齟齬が生じることが懸念されます。

・人口推計のデータは公開しますか。人口の数値は1桁ではなく、百人単位が良いと思います。

→ 審議会後公開予定です。どの単位まで公開するかは検討させていただきます。

・推計上出た数値という考えで良いと思う。

・今まで人口推計よりも実際の増加率が少なかったのは、都市開発が想定より遅れたという理由もあると思います。

・小学校区単位にした理由を聞かせてください。

→ 地域性を反映し、きめ細やかに行うためです。

・現在の第四次総合振興計画と整合性が取れていません。今回の推計では2040年で93,529人と人口が伸び続ける流れになっていますが、ピークがいつごろになるのか捉える必要があると思います。

→ 第四次総合振興計画策定当初では平成32(令和2)年で89,326人の推計ですが、改訂版で80,778人に下方修正されています。現在約83,000人ですので、改訂版の人口推計に沿っていくのは妥当性がない気がします。改めて適切な人口推計が必要だと思います。人口のピークは今後20年で迎えないという予測です。

・現在ある数値の中で、正確に出していかなければならないと思います。

・小学校区別で考えると疑問が出てくることがあると思います。

→ 全体で推計した場合も、2031年1月1日がほぼ変わらない推計になっています。

・こちらのデータは業務委託で算出したものですか。

→ そうです。

・今後施策を行う際の基礎データのため、合理的に説明が可能であれば良いと思います。

・全体で見て大きな誤差がないようなので、小学校区で推計を行う形でよろしいでしょうか。

→ 一同了承

・質問にこたえられるよう、もう一度確認する必要はあると思います。

→ 番地ベースで極端な動きがないか全て確認後除外しており、実態と外れていないと認識しています。

・有識者等の第三者の考えを取り入れる予定はありますか。

→ 審議会では意見聴取を行います。

・人口が伸びていて高齢化が進んでいる等のトレンドを掴んで施策を考えるとと思う。

・出た数字に対して、段階的にフィルターをかけ、コンセンサスが取れば良いと思います。

→ 今回実施した人口推計のデータ内容で行うことを承認

### 3 報告

#### (1) 市民意識調査(速報)について

## 事務局説明

市民意識調査についてですが、資料5が実際に行った調査票で、満18歳以上の市民の中から3,000人を無作為抽出し、調査を行いました。

資料4が結果概要です。回収率が47.8%と過去最高でした。理由としては調査票にQRコードを掲載し、WEB回答ができるようにしたことが一因と考えられます。

結果についてですが、まず「和光市の住みやすさについてどう思うか」及び「和光市にこれからも住み続けたいか」両方の質問が平成21年、平成27年と数字が向上し続けているという結果です。

次に「これからも和光市に住み続けたいと思う主な理由」の質問は、「交通の便がよい」「住宅の都合」「自然環境がよい」の回答が上位という結果です。

次に「和光市に魅力や誇りを感じることは、基本的な傾向は平成27年から大きく変化がないという結果です。

次に、「和光市駅周辺地域に必要と思われる機能」の質問を今回新たに加えましたが、「商業機能」「医療機能」「交通安全機能」の回答が上位という結果です。

最後に、基本施策に対する満足度・重要度の分析結果です。基本的な考え方は、重要度が高く満足度が低い部分については、特に力を入れていくべき施策です。基本目標を数値化し、満足度がマイナスになっている施策は、「1. 中心市街地にふさわしい駅北口周辺のまちづくりを進める」と「4. 安全で快適に利用できる道路環境を整備する」です。その他重要度が高く満足度が低い施策を中心に、重点的な取組を行っていくという考えになります。

なお、自由意見はとりまとめ次第ご提供します。

【意見・質問】なし

### (2) 和光100年まちづくり会議について

前回会議でも説明しましたが、企画が取りまとまりましたのでご案内します。和光100年まちづくり会議は第1回が9月1日、第2回が10月6日、第3回が12月8日、第4回が1月19日いずれも日曜日に全4回を予定しています。第1回と2回で大きな方向性の議論を行い、第3回と4回で課題解決に向けた具体的な取組について議論していただく予定です。現在比較的多世代の方から申し込みをいただいています。9月1日についてはキックオフミーティングとして、市民のほか別途ご案内している職員プロジェクトチームの方にもご参加いただくことを予定しています。

【意見・質問】

・参加者は市民の視点も大切ですが、企業体で牽引する責任者の方は全体の視点を持っていて違った意見が出ると思います。声掛けをする予定はありますか。

→ 現時点で声掛けは行っていません。審議会で各分野の企業の幅広い方にご参加いただく予定です。また、市民団体の代表者にも声掛けをしています。

### (3) 第四次和光市総合振興計画における主な成果について

資料7は、これまで第四次和光市総合振興計画で実現した取組について内容を

ピックアップしたものです。他にご意見があればお伝えいただければと思います。

**【意見・質問】**

・成果が得られなかった内容についても第五次和光市総合振興計画に繋げるにあたって大切だと思います。

→ 別途、今後の課題をまとめたものを作成する予定です。

4 その他

**事務局説明**

次回の総合振興計画策定委員会につきましては、10月9日（水）の政策会議後に開催を予定しております。和光100年まちづくり会議の報告と、第5次和光市総合振興計画基本構想骨子の作成に向けた内容についてご検討いただくことを予定しております。

5 閉会